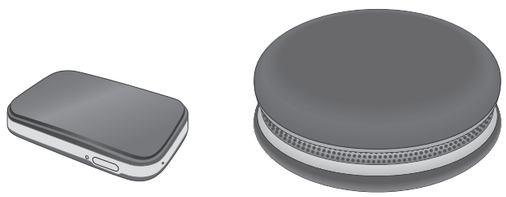
Panasonic

取扱説明書

コンパクトスピーカーシステム

品番 SC-MC10

Bluetooth®



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(裏面に記載)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本機は、ワイヤレススピーカー(SC-MC10)とワイヤレス送信機(RFE0246)から構成されています。
- 本書の本体イラストは、SC-MC10-K のものです。

保証書付き

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2012
VQT4G80 -1
F0412SN1042

きりとり線

Panasonic　持込修理

コンパクトスピーカーシステム保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SC-MC10
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　－
※販売店	住所・販売店名 電話（　）　－

見本

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は2012年4月現在のものです。変更されることがあります。

- □ ACアダプター ：2個 (品番 VSK0771)
- □ DC ケーブル
  SC-MC10-K: 黒 2本 (品番 RFE0247)
  SC-MC10-W: 黒1本 (品番 RFE0247)、白1本 (品番 RFE0248)
- □ 音声接続コード：1本 (品番 RJL2S005B20)
- □ 変換コード：1本 (品番 RJL2P011X30)

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ACアダプター(付属)とDC ケーブル(付属)は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

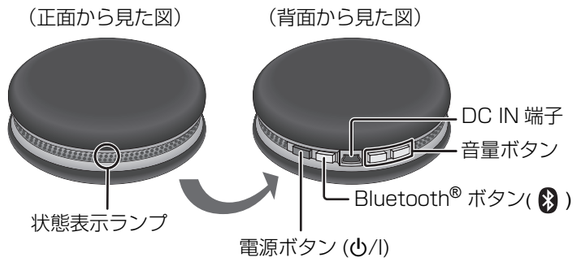
CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

各部の名前

ワイヤレススピーカー



ワイヤレス送信機

※ワイヤレス送信機に電源ボタンはありません。

状態表示ランプについて

- ゆっくり点滅：接続を待機中
- 速く点滅：　登録を待機中
- ● 点灯：　接続完了

本機を使う

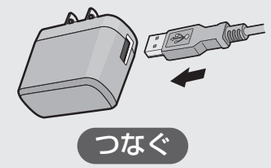
テレビにワイヤレス送信機をつなぐと、テレビの音声をお手元のワイヤレススピーカーからお楽しみいただけます。
・テレビの仕様については、テレビの説明書などもお読みください。

お使いいただくには、次の手順を行ってください。

① ACアダプターを組み立てる
↓
② ワイヤレス送信機を設置する
↓
③ ワイヤレススピーカーを設置する
↓
④ ワイヤレススピーカーで音声を聴く

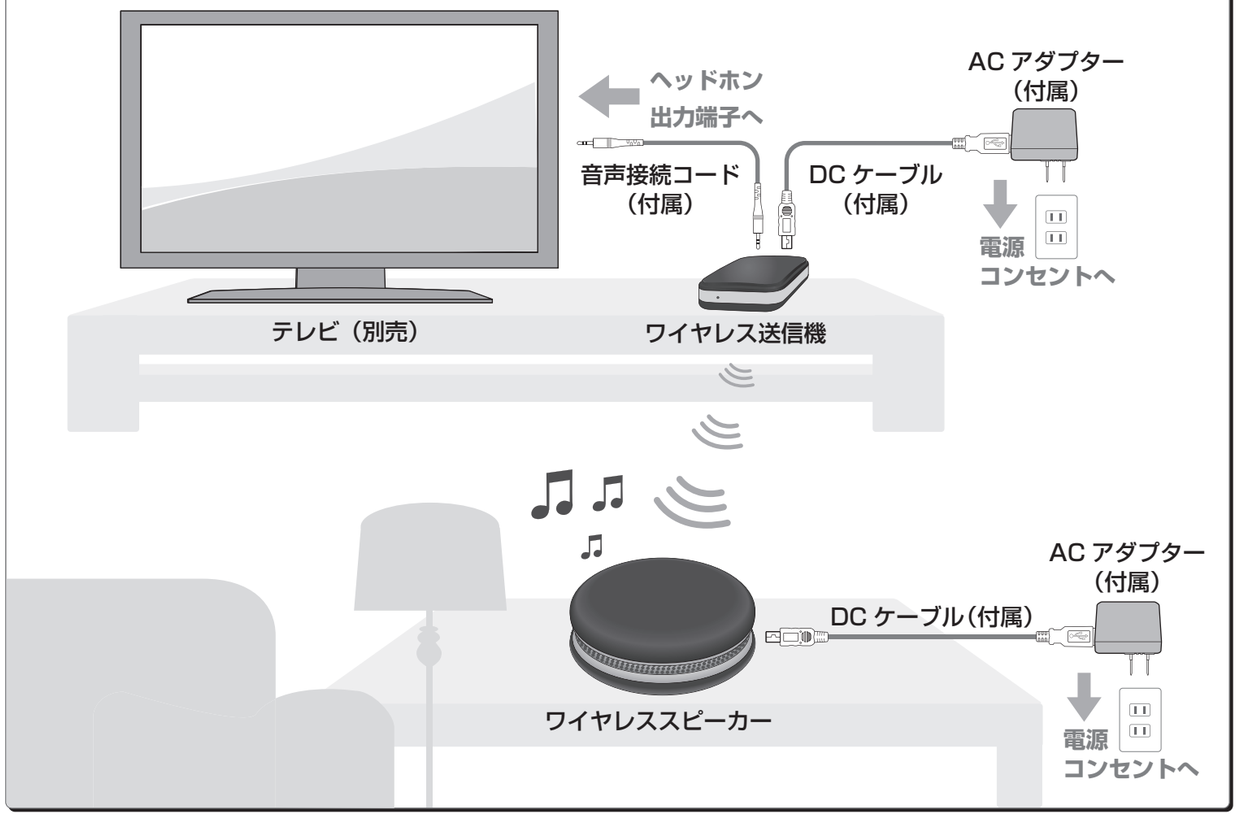
① ACアダプターを組み立てる

付属の AC アダプターに付属の DC ケーブルをつなぐ
・ワイヤレススピーカー用とワイヤレス送信機用に2組つないでください。
・付属の AC アダプター、DC ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。



接続完成図

※ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間に障害物を置かないでください。

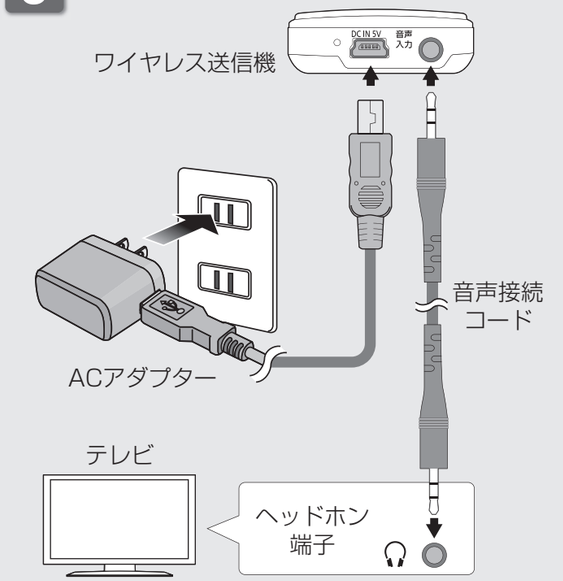


② ワイヤレス送信機 を設置する

1 付属の音声接続コードで、ワイヤレス送信機とテレビをつなぐ

2 送信機に①で組み立てた AC アダプターをつないだ後、電源コンセントに接続する
・送信機の電源が入り、状態表示ランプが点滅します。

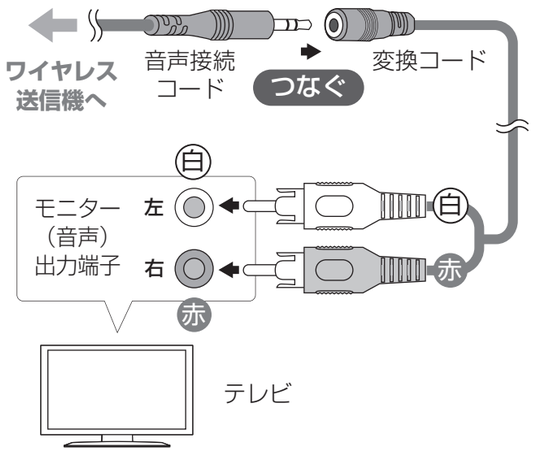
3 テレビの電源を入れる



テレビのスピーカーから音声が出なくなります。
・ヘッドホン接続時、テレビスピーカーとヘッドホンの両方から音声が出るように設定できるテレビもあります。

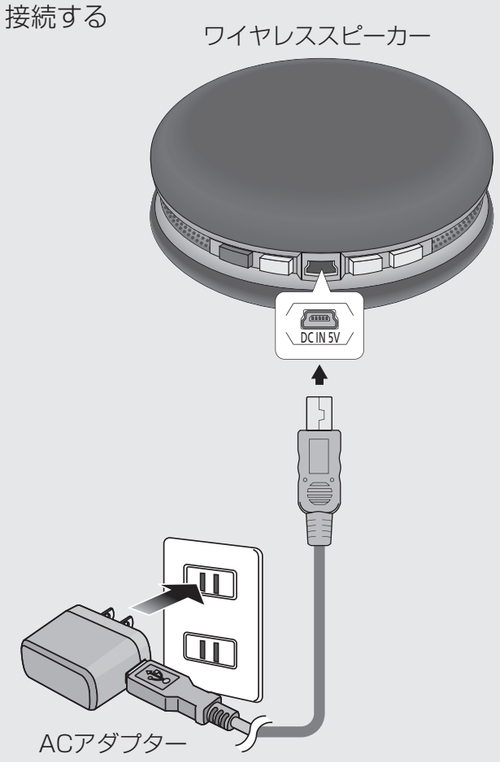
テレビからも音声を出すには

・テレビにモニター(音声)出力端子があるときは、**1** で付属の変換コードを使い、ワイヤレス送信機とテレビをつないでください。
・出力端子の形状によっては、音声接続コードでつなぐテレビもあります。



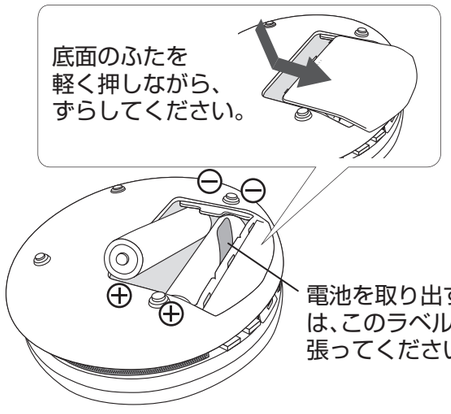
③ ワイヤレススピーカー を設置する

ワイヤレススピーカーに、①で組み立てた AC アダプターをつないだ後、電源コンセントに接続する



ワイヤレススピーカーを電池で使うには

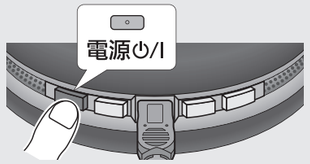
・単3形アルカリ乾電池(別売)または単3形ニッケル水素充電式電池(別売)をお使いください。充電式電池をお使いのときは、パナソニック製をお勧めします。
・AC アダプターにつないでいるときは、電源コンセントからの電源供給が優先されます。



電池の残量が少なくなると、状態表示ランプが青色から赤色に変わります。電池を取り換えてください。

④ ワイヤレススピーカーで 音声を聴く

電源ボタンを押す
・ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機との接続が始まります。接続されるとテレビの音声が聴こえます。



電源を入れると電子音が鳴ります。

音量を調節する

音量が最大または最小になると、電子音が鳴ります。

音量はワイヤレススピーカーの音量とテレビの音量によって決まります。テレビ側でも調整してください。
テレビのモニター(音声)出力端子に接続しているときは、テレビの音量出力は一定ですのでワイヤレススピーカー側で調整してください。

電源を切る

ご使用にならないときは、ワイヤレススピーカーの電源を切ってください。
ワイヤレススピーカーは、送信機からの音声入力がなく、ボタン操作がない状態が約 10 分間続くと電源が切れます。(オートオフ機能)

お知らせ
- ワイヤレススピーカーの正面側にスピーカーは搭載されています。音声を聴くときは、正面を向け、平らで安定した場所に設置してお使いください。
- ワイヤレススピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード(クレジットカード)を置いたりしないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。(音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります)
- ワイヤレススピーカーから聴こえる音声は、実際のテレビの音声よりも若干遅延しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

音のエチケット シンボルマーク

他機器と接続するには

本機は Bluetooth®(ブルートゥース)技術を使用していますので、Bluetooth® に対応したスピーカーやスマートフォンなどを受信機や送信機として登録し、お使いいただくこともできます。
- 他の Bluetooth® 機器を登録すると、本機のワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間の登録が解除され、再度使用するには再登録が必要な場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。

ワイヤレススピーカーに他の Bluetooth® 送信機器を登録して音声を聴く
本機のワイヤレス送信機から DC ケーブルを外し、電源を切っておいてください。
1. **ワイヤレススピーカーの [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れる**
2. **ワイヤレススピーカーの [ᛒ] ボタンを 5 秒以上押す**
   状態表示ランプが速く点滅し、登録待機状態になります。
3. **送信機器側で Bluetooth® の登録画面などを開き、機器名(SC-MC10)を選んで登録する**
   送信機器によっては登録後、自動的に接続されます。そのときは手順5を行ってください。
   パスキーの入力を要求された場合はワイヤレススピーカーのパスキー「0000」(ゼロ4つ)を入力してください。
4. **送信機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、機器名(SC-MC10)を選んで接続する**
   接続されると状態表示ランプが点灯します。
5. **送信機器側で再生を始める**

接続を解除するには
下記の動作をすると接続が解除されます。
– 送信機器側で Bluetooth® 送信を中止する。
– ワイヤレススピーカーまたは Bluetooth® 送信機器の電源を切る。

登録済みの機器の音声を聴くには
ワイヤレススピーカーの電源を入れると状態表示ランプがゆっくりと点滅し、接続待機状態になります。その後、手順4と手順5を行ってください。
- ワイヤレススピーカーの電源を入れると、ワイヤレススピーカーは最後に接続していた Bluetooth® 送信機器と接続しようとします。自動的に接続されたときは手順 5 を行ってください。

お知らせ
- ワイヤレススピーカーに登録できる Bluetooth® 機器は最大 6 台です。(お買い上げ時は本機のワイヤレス送信機のみ登録されています。)最大登録数を超えて登録すると、接続した順番が古いものから上書きされるため、本機の登録が解除されることがあります。再度、お使いいただくには登録をやり直してください。(下記「ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録をやり直す」を参照。)
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。

ワイヤレス送信機に他の Bluetooth® 受信機器を登録して音声を聴く
1. **受信機器側で Bluetooth® 登録待機状態にする**
2. **ワイヤレス送信機の [ᛒ] ボタンを 5 秒以上押す**
   状態表示ランプが速く点滅し、登録待機状態になります。接続されると状態表示ランプが点灯します。

接続を解除するには
下記の動作をすると接続が解除されます。
– ワイヤレス送信機または Bluetooth® 受信機器の電源を切る。

登録済みの機器の音声を聴くには
ワイヤレス送信機の電源が入った状態で、登録された Bluetooth® 受信機器を接続待機状態にすると、自動的に接続されます。

お知らせ
- ワイヤレス送信機に登録できる Bluetooth® 機器は、最大 1 台です。(お買い上げ時はワイヤレススピーカーが登録されています。)機器を登録すると上書きされるため、本機の登録が解除されます。再度、お使いいただくには登録をやり直してください。(下記「ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録をやり直す」を参照。)
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。

ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録をやり直す
1. **ワイヤレススピーカーの [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れる**
2. **ワイヤレススピーカーの [ᛒ] ボタンを 5 秒以上押す**
   状態表示ランプが速く点滅し、ワイヤレススピーカーが登録待機状態になります。
3. **ワイヤレス送信機の [ᛒ] ボタンを 5 秒以上押す**
   接続されるとワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機のそれぞれの状態表示ランプが点灯します。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

音が途切れる / 音が飛ぶ / 雑音が多い

- ワイヤレススピーカーやワイヤレス送信機を手の平で覆ったりしていませんか。通信が遮断されて、音が途切れることがあります。
- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機を近づけてください。
- ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 使用していない無線 LAN 機器の電源を切ってください。
- ワイヤレススピーカーの通信品質が音質重視になっていませんか。「モード 1」に設定してみてください。（下記「ワイヤレススピーカーの通信速度の切り換え」を参照。）
- ワイヤレススピーカーの状態表示ランプが赤色に点滅・点灯していませんか。電池が消耗すると通信状態が悪くなることがありますので、電池を取り換えてください。
- ワイヤレス送信機に接続した機器によっては、音割れや雑音が発生することがあります。そのときは機器側の音量を下げてください。

ワイヤレススピーカーの状態表示ランプが赤色と青色に交互に点滅する

- ワイヤレススピーカーに問題が生じています。電池を取り出し、ＡＣ アダプターを抜いて、電源を完全に切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。それでも状態表示ランプの点滅が変わらないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機が無線接続されない

- ワイヤレススピーカーやワイヤレス送信機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。それでも接続されないときは、ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録を元に戻してください。（表面「ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機の登録をやり直す」を参照。）

他の Bluetooth® 機器と無線接続されない

- 他の Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。（表面「他機器と接続するには」を参照。）
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどから本機の登録情報をいったん消去し、機器の登録をやり直してみてください。（表面「他機器と接続するには」を参照。）

ワイヤレススピーカーの通信速度の切り換え

ワイヤレススピーカーの通信速度を切り換えることができます。初期設定のモード 1（通信の安定性重視）とモード 2（音質重視）があります。

- Bluetooth® 接続中は設定できませんので、接続機器側で事前に Bluetooth® 機能を切っておくか、電源を切っておいてください。本機のワイヤレス送信機をご使用のときは、AC アダプターを抜いておいてください。
- 接続機器側が通信の安定性重視のときは、モード 2 に設定しても接続機器側の設定が優先されます。
- ワイヤレス送信機とご使用のときは通信速度は変わりません。

1 **ワイヤレススピーカーの [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れる**

2 **ワイヤレススピーカーの [ᛒ] ボタンを押す**

- モード 1 →モード 2 : 電子音が 2 回鳴ります。
  モード 2 →モード 1: 電子音が 1 回鳴ります。

Bluetooth®使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は認定銘板に記載しています。

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター
（右記「保証とアフターサービス」を参照。）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する
- 本機底面にある認定銘板を消したり、はがしたりする

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをお勧めします。
  ・電子レンジ / ワイヤレス LAN … 約 5 m 以上
  ・電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話 / ファクスなど … 約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

仕様

ワイヤレススピーカー：SC-MC10

実用最大出力（両 CH 動作）	2 W（1 W + 1 W） 8 Ω、1 kHz, 全高調波ひずみ率 1 %
スピーカー	フルレンジ: 3.6 cm × 2 コーン型
寸法（幅×高さ×奥行き）	103 mm× 41.9 mm× 103 mm
質量	約216 g（乾電池含む） 約170 g（乾電池含まず）

ワイヤレス送信機：RFE0246

寸法（幅×高さ×奥行き）	44 mm × 16 mm × 69 mm
質量	約22 g

Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 2.1 + EDR
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP (受信：SCMS-T 対応)
対応コーデック	Fast Stream: 195 kbps SBC: 229 kbps（モード 1） 328 kbps（モード 2）
通信方式	2402 ～ 2480 MHz (AFH-SS：適応型周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)
見通し通信距離	約 10 m (付属ワイヤレス送信機、高さ 1 m の条件で測定)
電波与干渉距離	10 m 以下

電池持続時間

使用電池	持続時間
パナソニック単３形アルカリ乾電池使用時	約４時間
パナソニック単３形ニッケル水素充電式電池 HHR-3MWS 使用時	約６時間

総合

電源		
乾電池		DC 3.0 V 単３形アルカリ乾電池 ×２本使用（別売品）
充電式電池		DC 2.4 V 単３形ニッケル水素充電式電池 ×２本使用（別売品）
AC アダプター	入力	AC100 V～240 V、50/60 Hz、0.2 A、10 VA（100 V）、13 VA（240 V）
	出力	DC 5 V、800 mA
許容動作温度		0 ℃～40 ℃
許容動作湿度		20 % ～ 80 % RH （結露なきこと）

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜き、電池を取り出す
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

AC アダプターのコード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）
傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機の金属部や電源プラグに触れない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない
機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

航空機内で使用しない
本機からの電波が運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

⚠警告

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

電池は誤った使いかたをしない
- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠注意

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーは防磁設計ではありません。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない。
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う
指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　）　　—
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは
「故障かな？」でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。
ワイヤレススピーカーとワイヤレス送信機を一緒に修理にご依頼ください。

●製品名	コンパクトスピーカーシステム
●品　番	SC-MC10
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用
※補修用性能部品の保有期間 8年
当社は、このコンパクトスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鵜4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0112

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お手入れ

ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

愛情点検	長年ご使用のコンパクトスピーカーシステムの点検を！	
	こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある
	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※このサービスはWEB限定のサービスです。

きりとり線

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
   （ご相談窓口一覧表を同梱の場合）
   お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.